

## 調査結果の概要

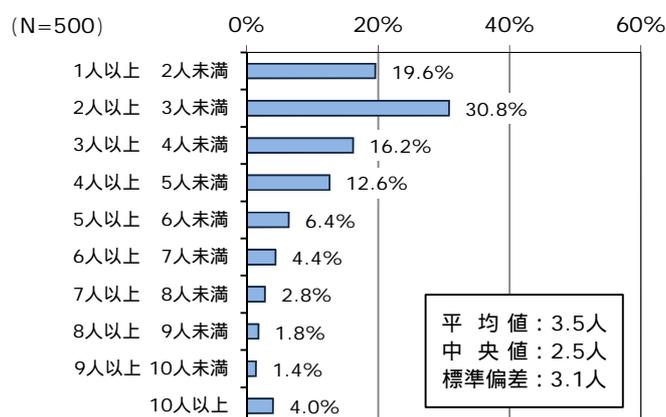
### 1. 回答薬局全体の状況

#### 1) 従事者数（常勤換算）

##### 薬剤師

平成 26 年 7 月 1 日現在の 1 施設当たり薬剤師数（常勤換算）は「2人以上3人未満」30.8%が最も多く、次いで「1人以上2人未満」19.6%であった（平均値 3.5 人、中央値 2.5 人）。

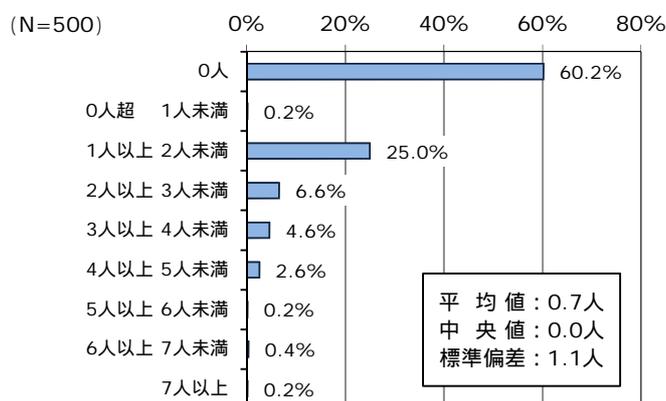
図表 2-1 1 施設当たり薬剤師数（常勤換算）



##### 登録販売者

1 施設当たり登録販売者数（常勤換算）は「0人」60.2%が最も多く、次いで「1人以上2人未満」25.0%であった（平均値 0.7 人、中央値 0.0 人）。

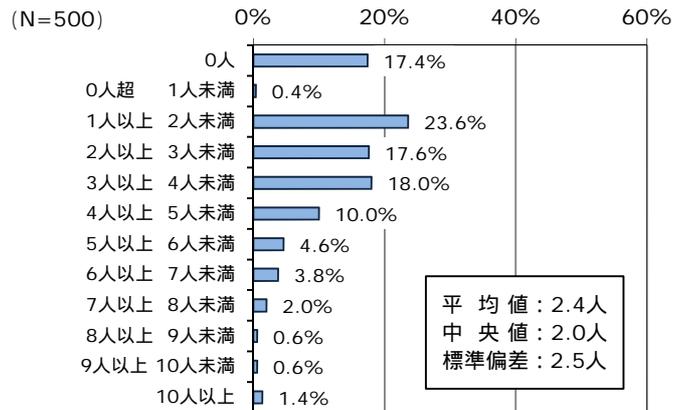
図表 2-2 1 施設当たり登録販売者数（常勤換算）



## その他の職員

1施設当たりその他の職員数（常勤換算）は「1人以上2人未満」23.6%が最も多く、次いで「3人以上4人未満」18.0%であった（平均値2.4人、中央値2.0人）。

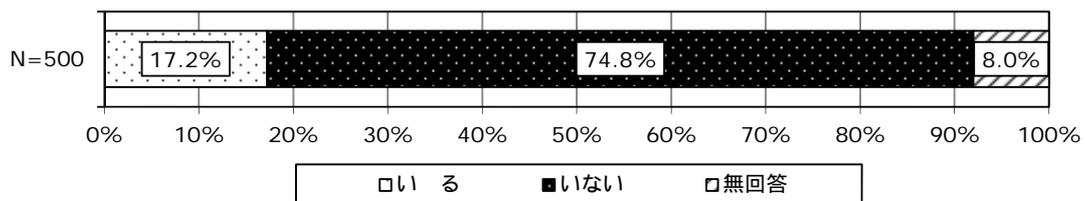
図表 2-3 1施設当たりその他の職員数（常勤換算）



## 介護支援専門員の有無

従事者のうち介護支援専門員の資格保有者の有無についてみると、「いない」74.8%、「いる」17.2%であった。

図表 2-4 介護支援専門員の有無

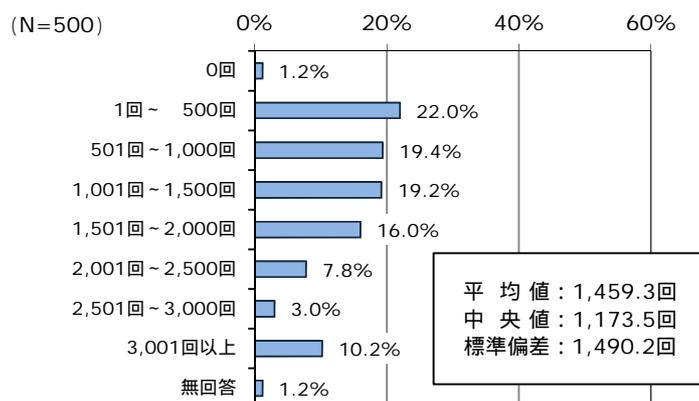


## 2) 処方箋の受付回数・集中度

### 処方箋受付回数【平成26年6月1カ月間】

平成26年6月1カ月間における1施設当たり処方箋受付回数は「1回～500回」22.0%が最も多く、次いで「501回～1,000回」19.4%であった（平均値1,459.3回、中央値1,173.5回）。

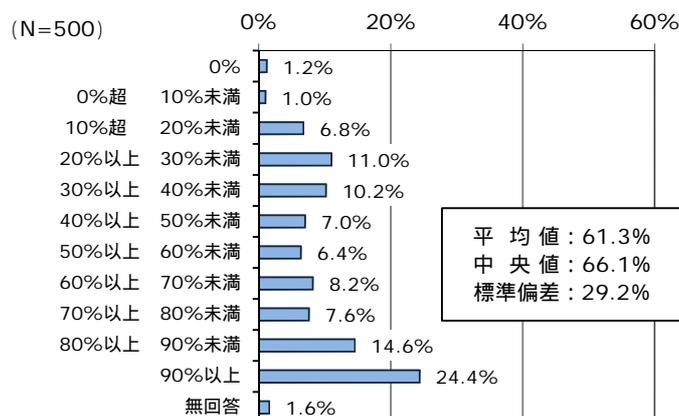
図表 2-5 1薬局当たり処方箋受付回数【平成26年6月1カ月間】



### 処方箋の集中度【平成26年6月1カ月間】

平成26年6月1カ月間における処方箋の集中度<sup>注1</sup>は「90%以上」24.4%が最も多く、次いで「80%以上90%未満」14.6%であった（平均値61.3%、中央値66.1%）。

図表 2-6 処方箋の集中度【平成26年6月1カ月間】



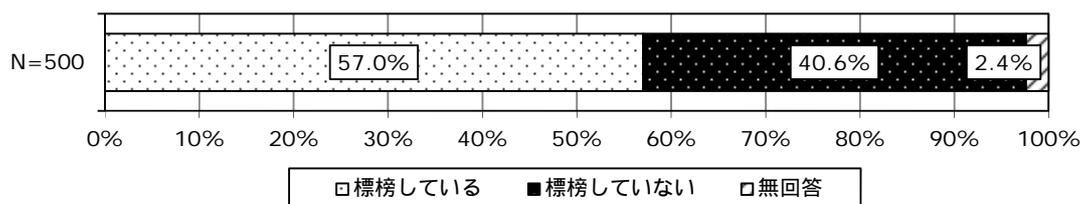
<sup>注1</sup> 平成26年6月1カ月間に最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの受付回数を、全医療機関からの受付回数で除した割合。

### 3) 薬局利用者の生活習慣全般に係る相談対応の状況

#### 相談対応に係る体制の標榜の有無

薬局利用者の生活習慣全般に係る相談対応<sup>注2</sup>に係る体制の標榜の有無についてみると、「標榜している」57.0%、「標榜していない」40.6%であった。

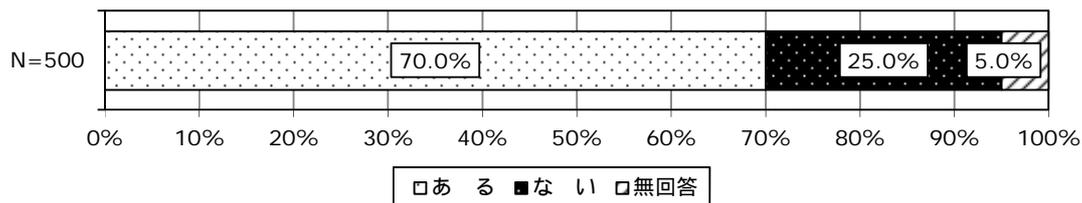
図表 2-7 相談対応に係る体制の標榜の有無



#### 相談対応の実績【過去半年間】

過去半年間の相談対応の実績の有無についてみると、「ある」70.0%、「ない」25.0%であった。

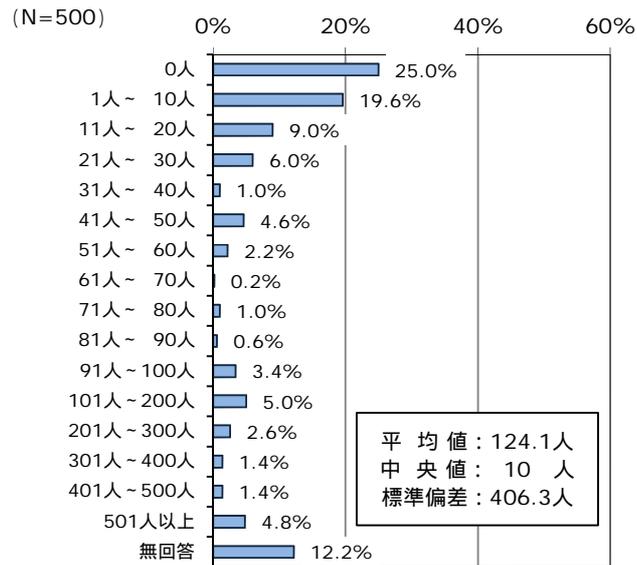
図表 2-8 相談対応の実績の有無【過去半年間】



<sup>注2</sup> 地域の行政や薬剤師会の事業の一環として、薬局利用者の栄養・食生活、身体活動・運動、休養、こころの健康づくり、飲酒、喫煙など生活習慣全般に係る相談について応需・対応し、地域住民の生活習慣の改善、疾病の予防に資する取組みを行っていることを指す。

また、過去半年間に相談対応を行った薬局利用者の1施設当たり延べ人数は「0人」25.0%が最も多く、次いで「1人～10人」19.6%であった（平均値124.1人、中央値10人）。

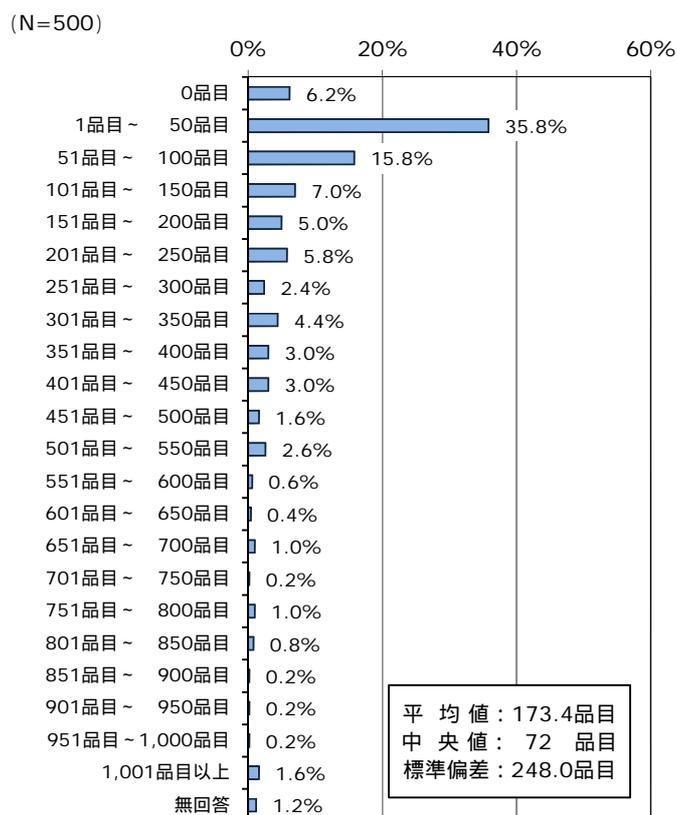
図表 2-9 相談対応した利用者の延べ人数【過去半年間】



#### 4) 要指導医薬品及び一般用医薬品の取扱い品目数

要指導医薬品及び一般用医薬品の1施設当たり取扱い品目数<sup>注3</sup>は「1品目～50品目」35.8%が最も多く、次いで「51品目～100品目」15.8%であった（平均値 173.4品目、中央値 72品目）。

図表 2-10 要指導医薬品及び一般用医薬品の1施設当たり取扱い品目数

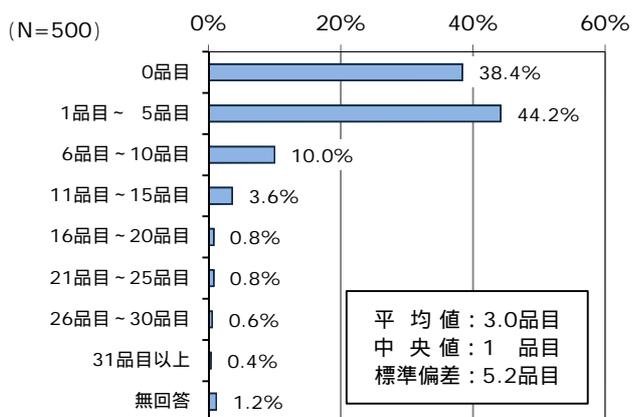


<sup>注3</sup> 販売実績に関わらず、店内で陳列している品目数（アイテム数）。

## 要指導医薬品

要指導医薬品の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～5品目」44.2%が最も多く、次いで「0品目」38.4%であった（平均値3.0品目、中央値1品目）。

図表 2-11 要指導医薬品の1施設当たり取扱い品目数

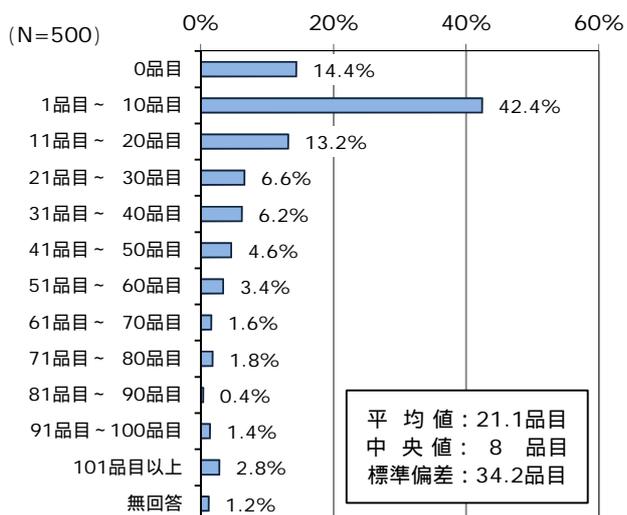


## 一般用医薬品

### 総合感冒薬・解熱鎮痛薬

一般用医薬品のうち（以下 頁「一般用検査薬」まで同様）総合感冒薬・解熱鎮痛薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」42.4%が最も多く、次いで「0品目」14.4%であった（平均値21.1品目、中央値8品目）。

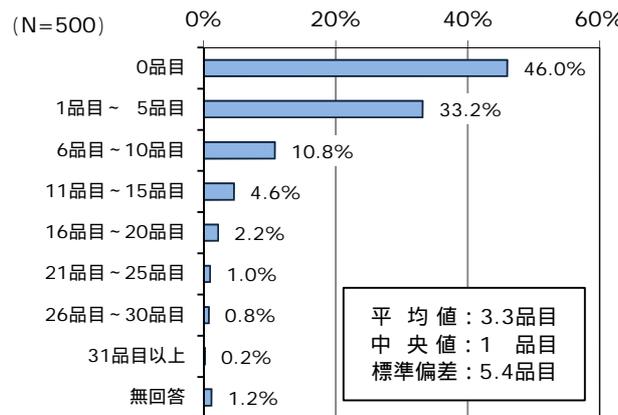
図表 2-12 総合感冒薬・解熱鎮痛薬の1施設当たり取扱い品目数



## 精神神経用薬

精神神経用薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」46.0%が最も多く、次いで「1品目～5品目」33.2%であった（平均値3.3品目、中央値1品目）。

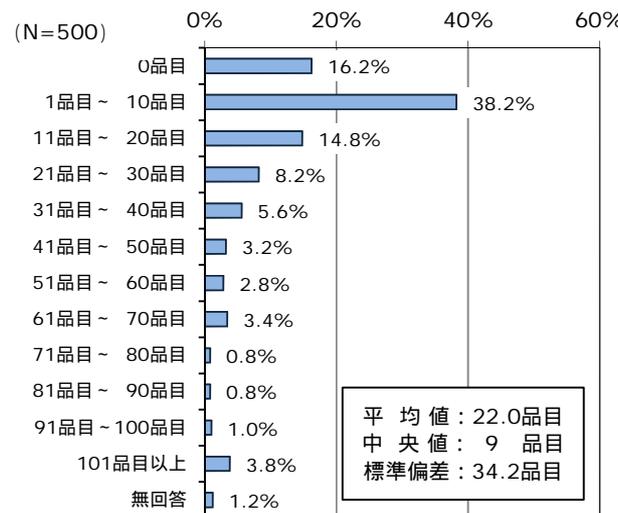
図表 2-13 精神神経用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 消化器官用薬

消化器官用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」38.2%が最も多く、次いで「0品目」16.2%であった（平均値22.0品目、中央値9品目）。

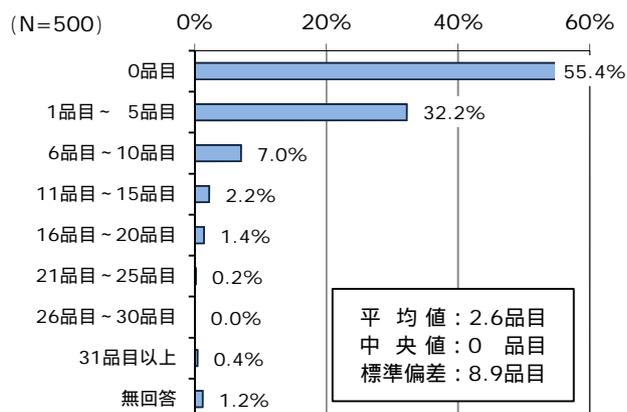
図表 2-14 消化器官用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 循環器・血液用薬

循環器・血液用薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」55.4%が最も多く、次いで「1品目～5品目」32.2%であった（平均値2.6品目、中央値0品目）。

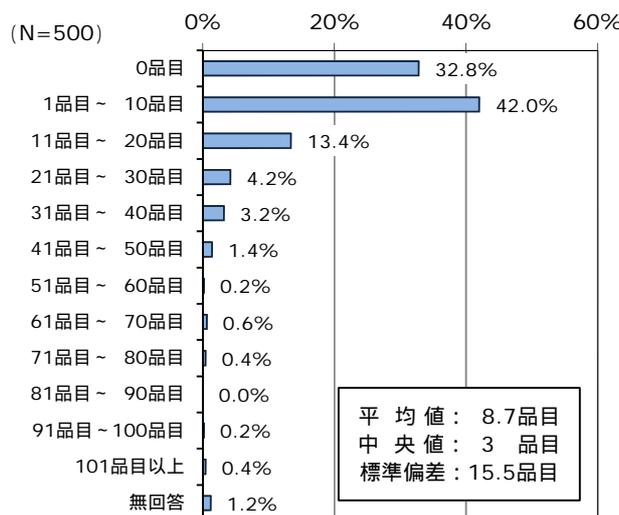
図表 2-15 循環器・血液用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 呼吸器官用薬

呼吸器官用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」42.0%が最も多く、次いで「0品目」32.8%であった（平均値8.7品目、中央値3品目）。

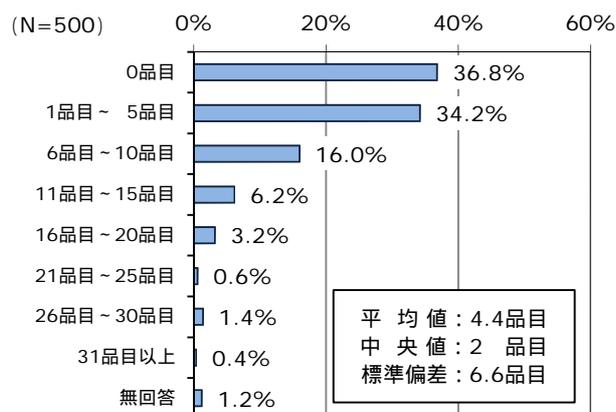
図表 2-16 呼吸器官用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 泌尿生殖器官及び肛門用薬

泌尿生殖器官及び肛門用薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」36.8%が最も多く、次いで「1品目～5品目」34.2%であった（平均値 4.4品目、中央値 2品目）。

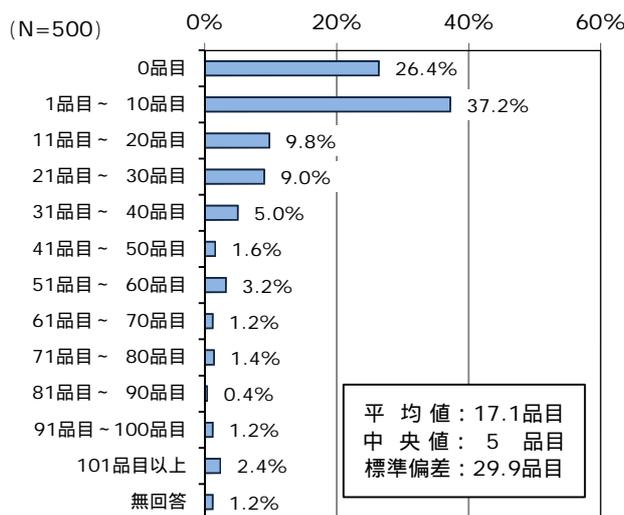
図表 2-17 泌尿生殖器官及び肛門用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 滋養強壮保健薬

滋養強壮保健薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」37.2%が最も多く、次いで「0品目」26.4%であった（平均値 17.1品目、中央値 5品目）。

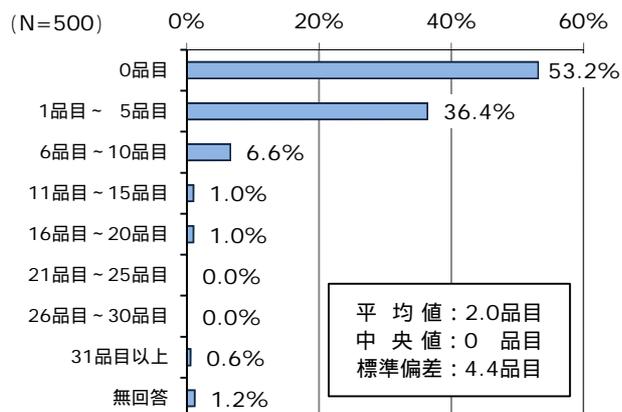
図表 2-18 滋養強壮保健薬の1施設当たり取扱い品目数



## 女性用薬

女性用薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」53.2%が最も多く、次いで「1品目～5品目」36.4%であった（平均値 2.0品目、中央値 0品目）。

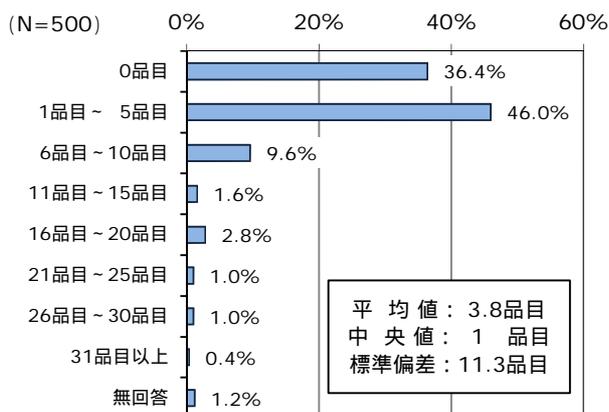
図表 2-19 女性用薬の1施設当たり取扱い品目数



## アレルギー用薬

アレルギー用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～5品目」46.0%が最も多く、次いで「0品目」36.4%であった（平均値 3.8品目、中央値 1品目）。

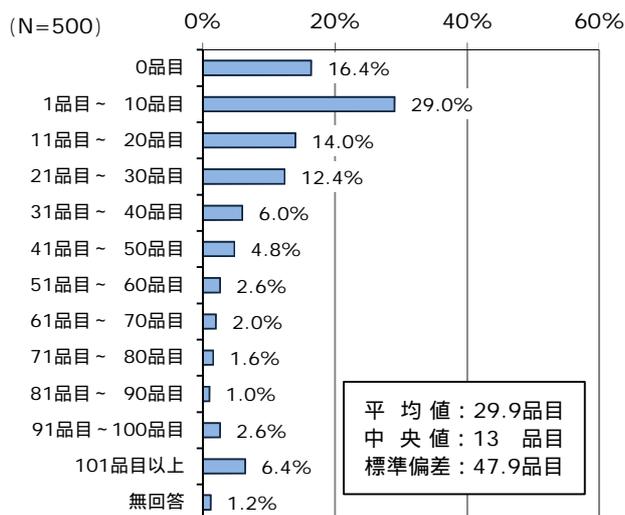
図表 2-20 アレルギー用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 外皮用薬

外皮用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」29.0%が最も多く、次いで「0品目」16.4%であった（平均値 29.9品目、中央値 13品目）。

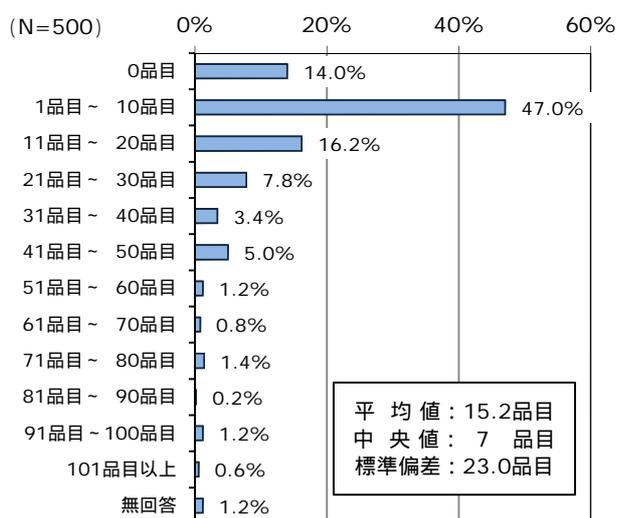
図表 2-21 外皮用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 眼科用薬

眼科用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」47.0%が最も多く、次いで「11品目～20品目」16.2%であった（平均値 15.2品目、中央値 7品目）。

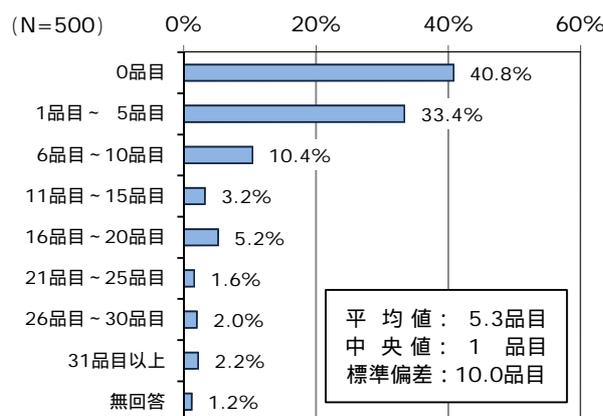
図表 2-22 眼科用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 耳鼻科用薬

耳鼻科用薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」40.8%が最も多く、次いで「1品目～5品目」33.4%であった（平均値5.3品目、中央値1品目）。

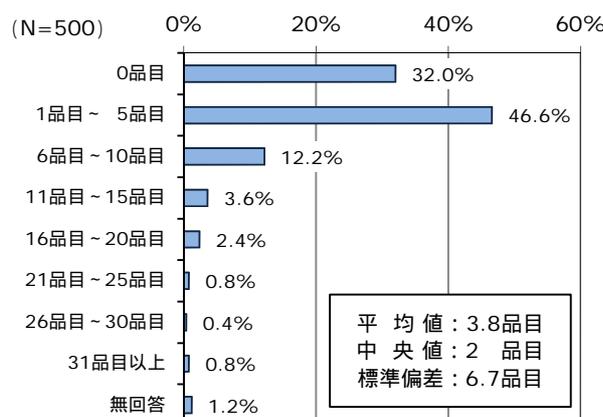
図表 2-23 耳鼻科用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 歯科口腔用薬

歯科口腔用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～5品目」46.6%が最も多く、次いで「0品目」32.0%であった（平均値3.8品目、中央値2品目）。

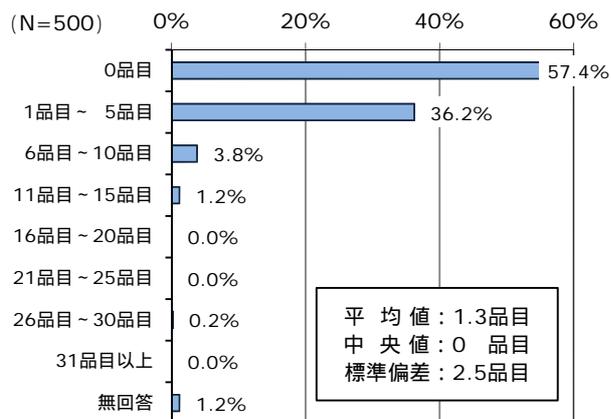
図表 2-24 歯科口腔用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 禁煙補助剤

禁煙補助剤の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」57.4%が最も多く、次いで「1品目～5品目」36.2%であった（平均値1.3品目、中央値0品目）。

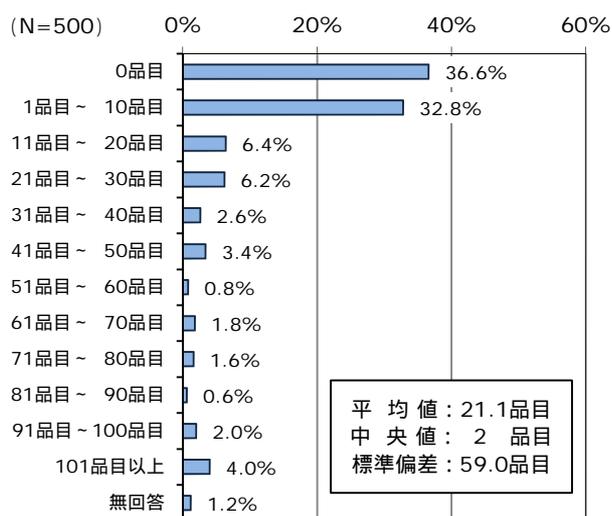
図表 2-25 禁煙補助剤の1施設当たり取扱い品目数



## 漢方製剤

漢方製剤の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」36.6%が最も多く、次いで「1品目～10品目」32.8%であった（平均値21.1品目、中央値2品目）。

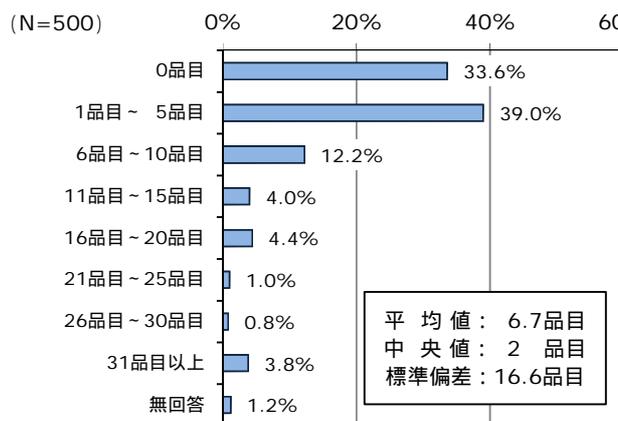
図表 2-26 漢方製剤の1施設当たり取扱い品目数



## 公衆衛生用薬

公衆衛生用薬の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～5品目」39.0%が最も多く、次いで「0品目」33.6%であった（平均値 6.7品目、中央値 2品目）。

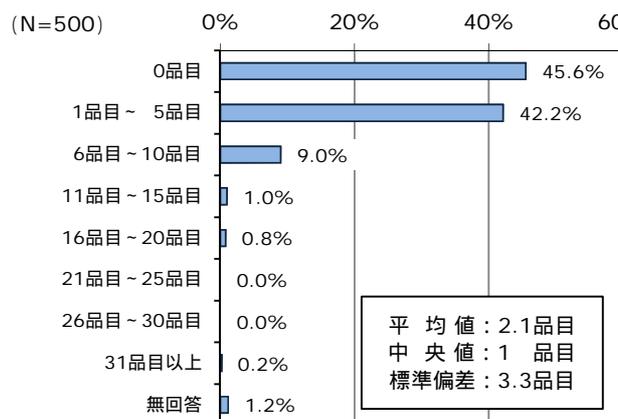
図表 2-27 公衆衛生用薬の1施設当たり取扱い品目数



## 一般用検査薬

一般用検査薬の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」45.6%が最も多く、次いで「1品目～5品目」42.2%であった（平均値 2.1品目、中央値 1品目）。

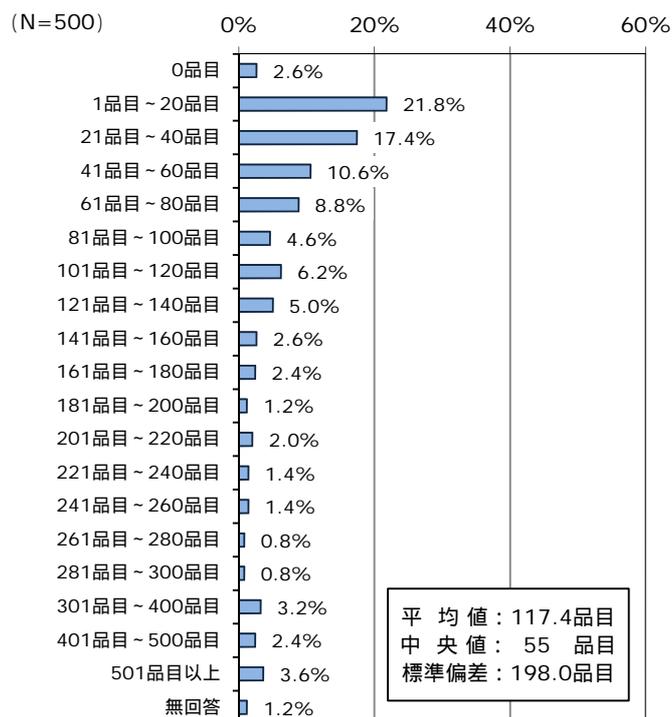
図表 2-28 一般用検査薬の1施設当たり取扱い品目数



## 5) 介護用品・衛生用品・医療機器等の取扱い品目数

介護用品、衛生用品、医療機器・その他家庭用計量計測機器、医薬部外品、乳幼児用品（以下「介護用品・衛生用品・医療機器等」という）の1施設当たり取扱い品目数<sup>注4</sup>は「1品目～20品目」21.8%が最も多く、次いで「21品目～40品目」17.4%であった（平均値 117.4品目、中央値 55品目）。

図表 2-29 介護用品・衛生用品・医療機器等の1施設当たり取扱い品目数

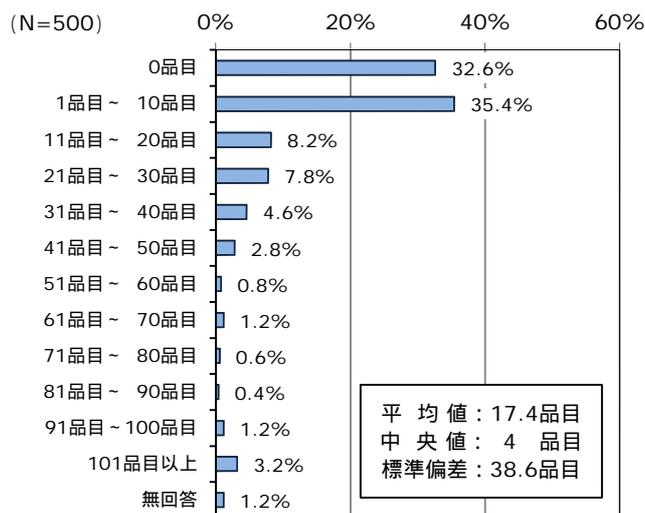


<sup>注4</sup> 販売実績に関わらず、店内で陳列している品目数（アイテム数）。

## 介護用品

介護用品の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」35.4%が最も多く、次いで「0品目」32.6%であった（平均値17.4品目、中央値4品目）。

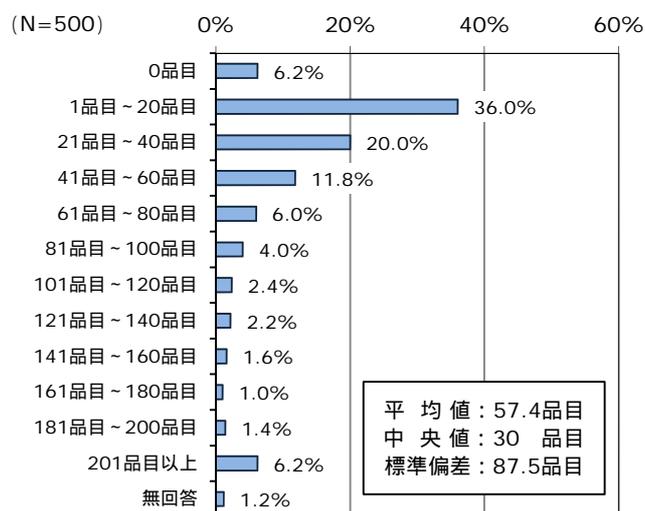
図表 2-30 介護用品の1施設当たり取扱い品目数



## 衛生材料

衛生材料の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～20品目」36.0%が最も多く、次いで「21～40品目」20.0%であった（平均値57.4品目、中央値30品目）。

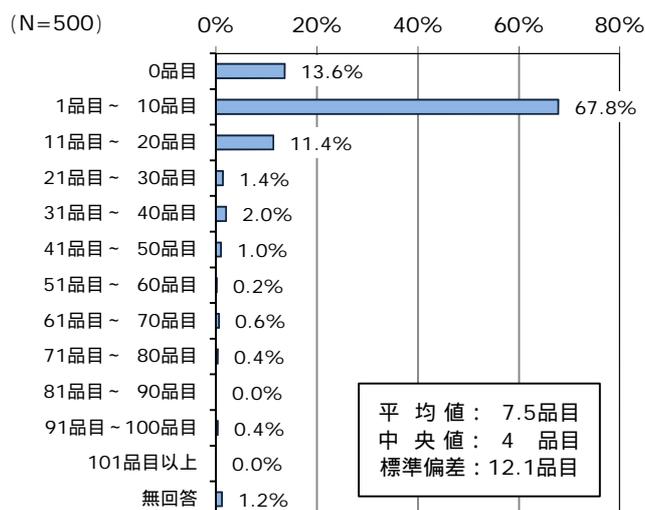
図表 2-31 衛生材料の1施設当たり取扱い品目数



## 医療機器・その他家庭用計量計測機器

医療機器・その他家庭用計量計測機器の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」67.8%が最も多く、次いで「0品目」13.6%であった（平均値7.5品目、中央値4品目）。

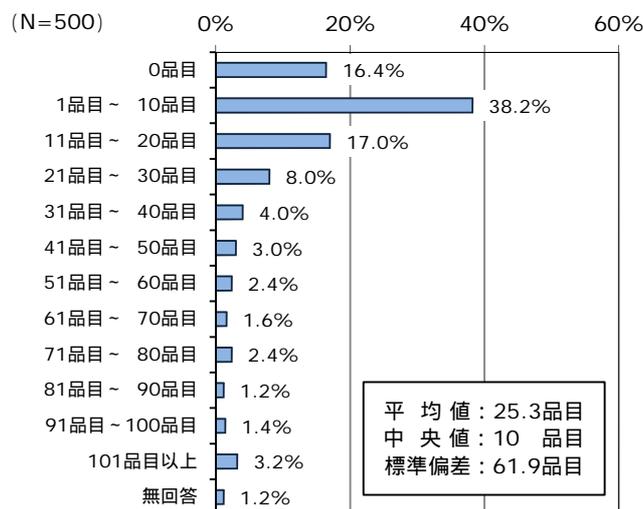
図表 2-32 医療機器・その他家庭用計量計測機器の1施設当たり取扱い品目数



## 医薬部外品

医薬部外品の1施設当たり取扱い品目数は「1品目～10品目」38.2%が最も多く、次いで「11品目～20品目」17.0%であった（平均値25.3品目、中央値10品目）。

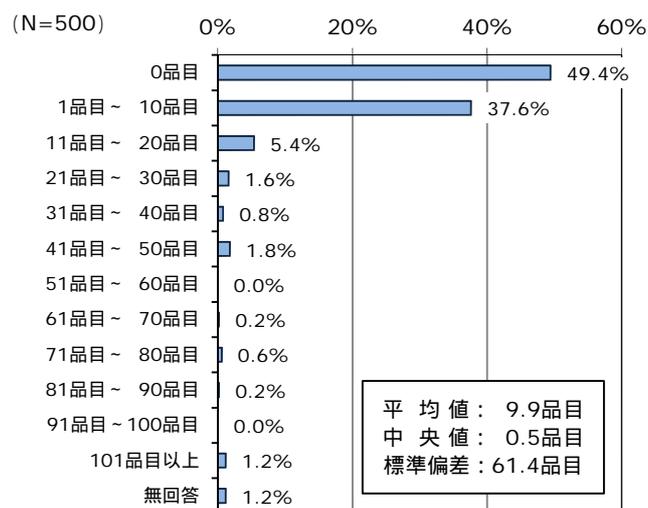
図表 2-33 医薬部外品の1施設当たり取扱い品目数



## 乳幼児用品

乳幼児用品の1施設当たり取扱い品目数は「0品目」49.4%が最も多く、次いで「1品目～10品目」37.6%であった（平均値9.9品目、中央値0.5品目）。

図表 2-34 乳幼児用品の1施設当たり取扱い品目数

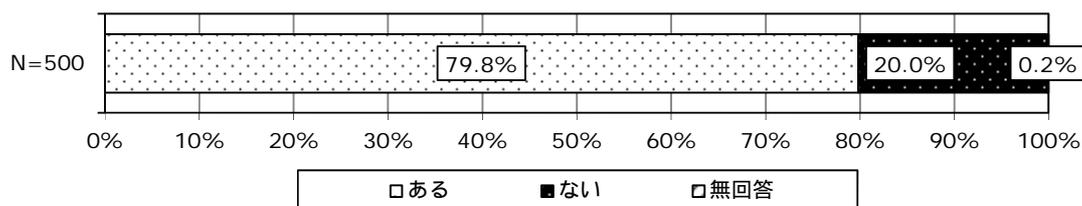


## 6) 薬局利用者に対する医療機関への受診勧奨・情報提供の状況

### 薬局利用者に対する医療機関への受診勧奨の実績の有無【過去半年間】

薬局利用者に対する医療機関への受診勧奨について、過去半年間の実績の有無をみると、「ある」79.8%、「ない」20.0%であった。

図表 2-35 利用者に対する医療機関への受診勧奨の実績の有無【過去半年間】

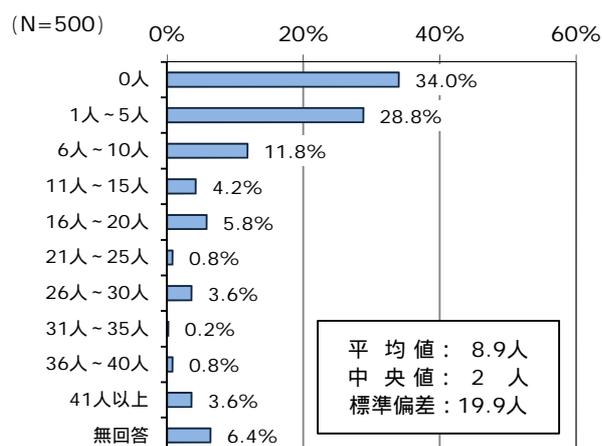


### 医療機関への受診勧奨の実績【過去半年間】

#### 要指導医薬品又は一般用医薬品の購入希望者に対する受診勧奨

過去半年間に実施した要指導医薬品又は一般用医薬品の購入希望者に対する受診勧奨について、1施設当たり延べ人数は「0人」34.0%が最も多く、次いで「1人～5人」28.8%であった（平均値 8.9人、中央値 2人）。

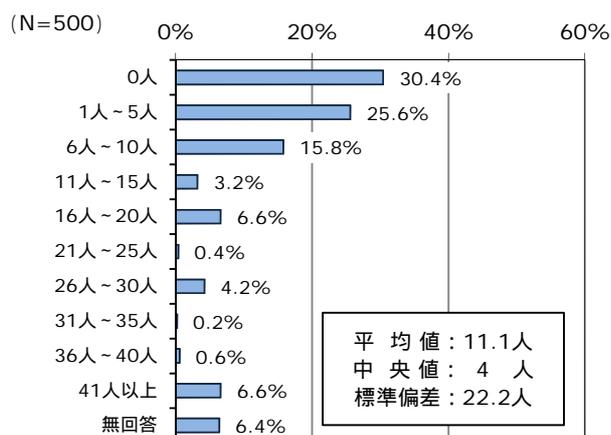
図表 2-36 受診勧奨した利用者の延べ人数【過去半年間】



## その他の薬局利用者に対する受診勧奨

過去半年間に実施したその他の薬局利用者に対する受診勧奨について、1施設当たり延べ人数は「0人」34.0%が最も多く、次いで「1人～5人」25.6%であった（平均値11.1人、中央値4人）。

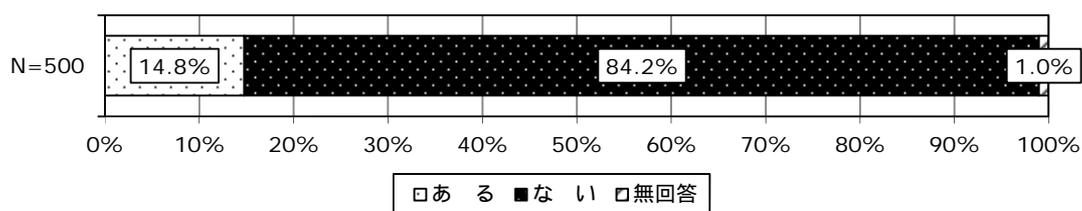
図表 2-37 受診勧奨した利用者の延べ人数【過去半年間】



## 医療機関への受診勧奨時における文書による情報提供の実績【過去半年間】

過去半年間の薬局利用者に対する受診勧奨時における文書による情報提供<sup>注5</sup>の実績の有無についてみると、「ある」14.8%、「ない」84.2%であった。

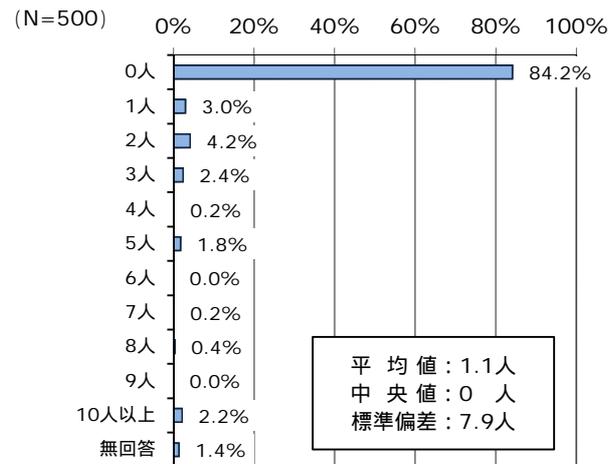
図表 2-38 受診勧奨時における文書による情報提供の実績の有無【過去半年間】



<sup>注5</sup> 受診勧奨をした利用者が医療機関を受診する際に、紹介状等文書により情報提供することを指す。

また、過去半年間に受診勧奨時に文書による情報提供を行った薬局利用者の1施設当たり延べ人数は「0人」84.2%が最も多かった(平均値1.1人、中央値0人)。

図表 2-39 受診勧奨時に文書による情報提供を行った利用者の延べ人数【過去半年間】

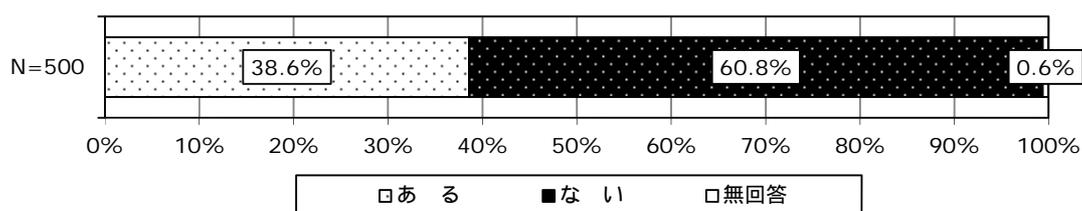


## 7) 他機関との連携状況

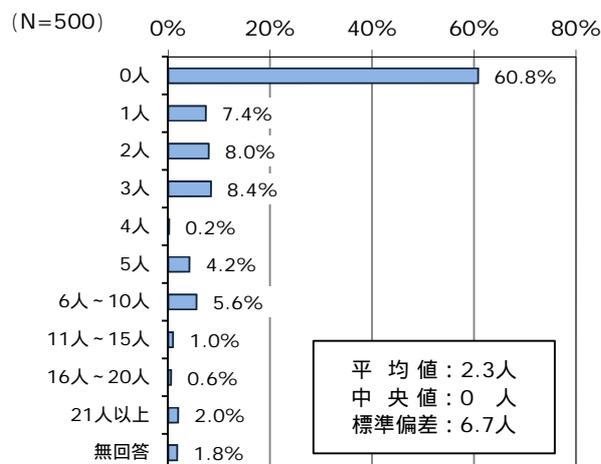
過去半年間の他機関との連携<sup>注6</sup>の実績の有無についてみると、「ある」38.6%、「ない」60.8%であった。

また、過去半年間に他機関との連携を行った薬局利用者の1施設当たり延べ人数は「0人」60.8%が最も多く、次いで「3人」8.4%であった(平均値 2.3人、中央値 0人)。

図表 2-40 他機関との連携の実績の有無【過去半年間】



図表 2-41 他機関との連携を行った利用者の延べ人数【過去半年間】



<sup>注6</sup> 利用者本人又はその家族等からの健康や介護等に関する相談を受け、適当な行政・関係機関(役所等の相談窓口、保健所、福祉事務所、地域包括支援センター等)への連絡・紹介を行っていることを指す。

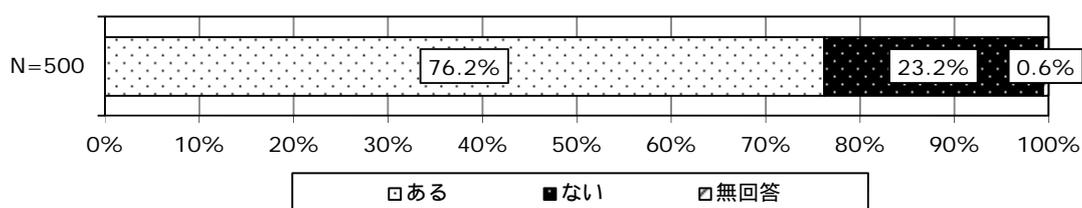
## 8) 健康食品等に関する相談対応・情報提供の状況

### 健康食品等に関する相談対応の実績【過去半年間】

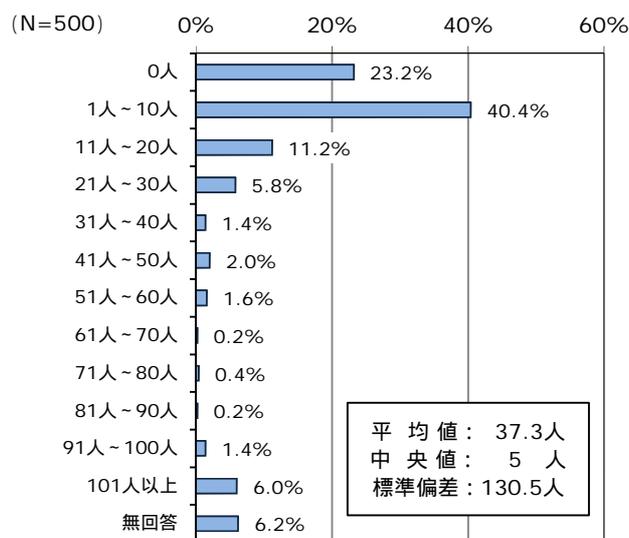
過去半年間の健康食品等に関する相談対応<sup>注7</sup>の実績の有無についてみると、「ある」76.2%、「ない」23.2%であった。

また、過去半年間に健康食品等に関する相談対応を行った薬局利用者の1施設当たり延べ人数は「1人～10人」40.4%が最も多く、次いで「0人」23.2%であった（平均値37.3人、中央値5人）。

図表 2-42 健康食品等に関する相談対応の実績の有無【過去半年間】



図表 2-43 健康食品等に関する相談対応を行った利用者の延べ人数【過去半年間】



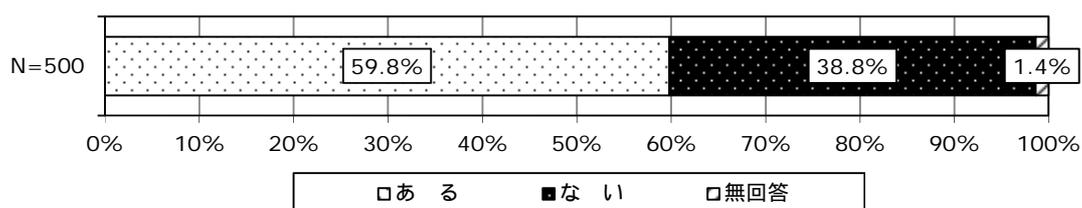
<sup>注7</sup> 特定保健用食品、特別用途食品、サプリメント等のいわゆる健康食品等を購入される方について適切な情報の把握に努め、服用薬との相互作用等の健康食品に係る相談について応需・対応していることを指す。

## 健康食品等と服用薬との相互作用に関する情報提供の実績【過去半年間】

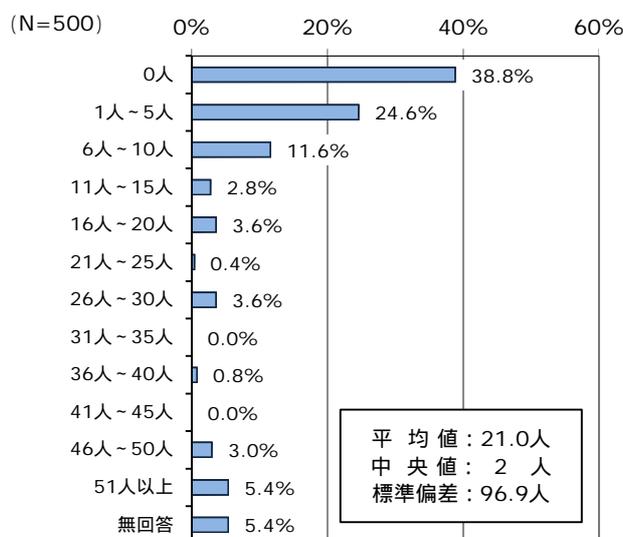
過去半年間の健康食品等と服用薬との相互作用に関する情報提供の実績の有無についてみると、「ある」59.8%、「ない」38.8%であった。

また、過去半年間に健康食品等と服用薬との相互作用に関する情報提供を行った薬局利用者の1施設当たり延べ人数は「0人」38.8%が最も多く、次いで「1人～5人」24.6%であった（平均値21.0人、中央値2人）。

図表 2-44 健康食品等と服用薬との相互作用に関する情報提供の実績の有無【過去半年間】



図表 2-45 健康食品等と服用薬との相互作用に関する情報提供を行った利用者の延べ人数【過去半年間】

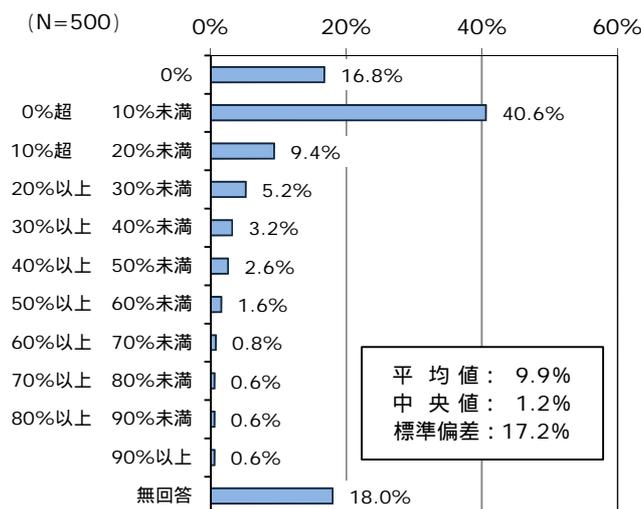


9) 要指導医薬品・一般用医薬品等の売上の割合

要指導医薬品及び一般用医薬品

平成 26 年 6 月の総売上に占める要指導医薬品及び一般用医薬品の売上の割合は、「0%超 10%未満」40.6%が最も多く、次いで「0%」16.8%であった（平均値 9.9%、中央値 1.2%）

図表 2-46 要指導医薬品及び一般用医薬品の売上の割合【平成26年6月1カ月間】



介護用品・衛生材料・医療機器等

平成 26 年 6 月の総売上に占める介護用品・衛生材料・医療機器等の売上の割合は、「0%超 10%未満」53.2%が最も多く、次いで「0%」16.2%であった（平均値 4.1%、中央値 1.0%）

図表 2-47 介護用品・衛生材料・医療機器等の売上の割合【平成26年6月1カ月間】

